



Photo Library Export – ユーザガイド

ユーザーマニュアル

Version 4.6.1 · macOS · 日本語

Photo Library Export へようこそ。Macのフォトライブラリや接続したデジタルカメラにある写真とビデオを、コンピュータ上の好きなフォルダへ手軽かつ確実に保存できるAppです。

目次

1. このAppでできること
 2. はじめに
 3. シナリオ1：フォトライブラリ全体をエクスポートする
 4. シナリオ2：特定のアルバムをエクスポートする
 5. シナリオ3：すべてのアルバムをエクスポートする（アルバム構成を保持）
 6. シナリオ4：デジタルカメラまたはメモリーカードからエクスポートする
 7. エクスポートする対象を選ぶ - メディアタイプ - 期間フィルター - カメラモデルフィルター
 8. ファイルとフォルダの名前を決める - フォルダ名 - ファイル名 - カスタムフォルダパターン
 9. その他の設定
 10. エクスポートを実行する
 11. インデックス印刷
 12. エクスポートのあとで
 13. 無料版と無制限エクスポート
 14. ヒントとよくある質問
-

このAppでできること

Photo Library Export は、Macの**フォトライブラリ**（または接続したカメラ）から写真とビデオをコピーし、選んだフォルダに通常のファイルとして保存します。次のような場面で役立ちます。

- 「写真」Appの外に、写真コレクション全体のバックアップを作成する。
- 特定のアルバムや期間の写真を他の人と共有する。
- カメラやメモリーカードからMacに写真を取り込む。
- 特定のソフトウェアに依存しない形式で思い出をアーカイブする。

このAppは写真をコピーするだけです。フォトライブラリやカメラの中身を削除したり変更したりすることは一切ありません。

はじめに

Photo Library Export を開くと、エクスポートを始める前に設定するいくつかのオプションがメイン画面に表示されます。設定は1分ほどで終わります。

1. **ソースを選ぶ** – 写真の取得元（フォトライブラリまたは接続したカメラ）を指定します。
 2. **エクスポートする対象を選ぶ** – すべての写真、特定のアルバム、または期間を指定します。
 3. **ファイルの整理方法を選ぶ** – フォルダ名とファイル名の構成を決めます。
 4. **保存先フォルダを選ぶ** – エクスポートしたファイルをMacのどこに保存するかを指定します。
 5. **「写真とビデオをエクスポート」をクリック** –あとはAppにおまかせです。
-

シナリオ1：フォトライブラリ全体をエクスポートする

「写真」App内のすべてを完全にバックアップ、またはアーカイブしたいときに使います。

1. Photo Library Export を開きます。
2. 上部の「デバイス」ドロップダウンが「このMacのフォトライブラリ」になっていることを確認します。
3. 「ソース」ドロップダウンで「完全なフォトライブラリ」を選びます。
4. お好みの「フォルダ名」スタイルを選びます（たとえば年/月を選ぶと、2024/06/ のようなフォルダに写真がまとめられます）。
5. すべてをエクスポートするには、「メディアタイプ」を「写真とビデオ」のままにしておきます。
6. 「写真とビデオをエクスポート」をクリックします。
7. **エクスポート先フォルダを選択**するウィンドウが表示されます。ここで指定した場所に、エクスポートしたすべてのファイルが保存されます。必要に応じて新しいフォルダを作成してください（たとえば My Photo Backup ）。
8. エクスポートが始まります。進行状況バーと、現在エクスポート中の写真のプレビューを確認できます。
9. 完了すると、いくつかの新しいファイルがエクスポートされたかを示す概要が表示されます。

ヒント：あとでもう一度エクスポートを実行すると、すでにエクスポート済みの写真は自動的にスキップされ、新しく追加されたものだけがコピーされます。定期的なバックアップに最適です。

シナリオ2：特定のアルバムをエクスポートする

「写真」App内の特定のアルバム（旅行のアルバムや、共有したい写真をまとめたフォルダなど）の写真だけをエクスポートしたいときに使います。

1. Photo Library Export を開きます。
2. 「デバイス」ドロップダウンが「このMacのフォトライブラリ」になっていることを確認します。
3. 「ソース」ドロップダウンをクリックします。ライブラリ内のすべてのアルバムが一覧表示されるので、エクスポートしたいアルバムを選びます。
4. 必要に応じて、その他のオプション（メディアタイプ、期間、フォルダ名／ファイル名）を設定します。
5. 「写真とビデオをエクスポート」をクリックします。
6. 保存先フォルダを選んで、エクスポートを実行します。

注意： 特定のアルバムを選んでいるときは、フォルダ名スタイルに「アルバム」を使うこともできます。この場合、指定した保存先の中にアルバム名のサブフォルダが作成されます。

シナリオ3：すべてのアルバムをエクスポートする（アルバム構成を保持）

すべてのアルバムをエクスポートし、アルバムごとに別々のフォルダへ整理したいときに使います。

1. Photo Library Export を開きます。
2. 「デバイス」ドロップダウンが「このMacのフォトライブラリ」になっていることを確認します。
3. 「ソース」ドロップダウンで「すべてのアルバム」を選びます。
4. 「フォルダ名」ドロップダウンで「アルバム」を選びます。これでアルバムごとに個別のサブフォルダが作成されます。
5. 「写真とビデオをエクスポート」をクリックします。
6. 保存先フォルダを選んで、エクスポートを開始します。

注意： 複数のアルバムに含まれている写真は、含まれているアルバムの数だけエクスポートされます。どのアルバムにも入っていない写真は、このエクスポートには含まれません。それらを別途エクスポートするには、「ソース」ドロップダウンから「アルバムに含まれない写真とビデオ」を選んでください。

シナリオ4：デジタルカメラまたはメモリーカードからエクスポートする

デジタルカメラ、スマートフォン、メモリーカードリーダーを接続して、写真をMacにコピーしたいときに使います。

- 1. カメラを接続するか、メモリーカードを挿入します。Macに認識されていることを確認してください。
- 2. Photo Library Export を開きます。
- 3. 上部の「デバイス」ドロップダウンをクリックします。接続したデバイスが一覧に表示されます（たとえば「Canon EOS R50」や「USB Memory Card」）。それを選びます。
- 4. お好みの「フォルダ名」スタイルを選びます。
- 5. 写真だけ、またはビデオだけをエクスポートしたい場合は、「メディアタイプ」を選びます。
- 6. 「写真とビデオをエクスポート」をクリックします。
- 7. Appがまずカメラの内容を読み込みます。ファイル数によっては少し時間がかかります。
- 8. 保存先フォルダを選ぶと、エクスポートが始まります。

注意： 接続したデバイスからエクスポートする場合、アルバムの選択、カメラモデルフィルター、カスタムフォルダパターンの位置情報タグは利用できません。エクスポートの対象はデバイスのストレージ内のみです。

ヒント： 同じ保存先フォルダを指定してもう一度エクスポートを実行すると、以前にエクスポートしたファイルは自動的に検出されてスキップされ、新しく撮影したものだけがコピーされます。

エクスポートする対象を選ぶ

メディアタイプ

「メディアタイプ」ドロップダウンでは、エクスポートするコンテンツの種類を選べます。

オプション	エクスポートされる内容
写真とビデオ	すべて — 写真、ビデオ、Live Photosなど
写真	写真のみ（ビデオは除く）
ビデオ	ビデオのみ（写真は除く）

期間フィルター

特定の期間に撮影された写真だけにエクスポートを限定できます。

- 「以降のファイルをエクスポート【日付】」 — 選択した開始日以降に撮影された写真だけをエクスポートします。このオプションの横にあるチェックボックスをオンにして、日付を選びます。
- 「以前【日付】」 — 選択した終了日より前に撮影された写真だけをエクスポートします。このオプションの横にあるチェックボックスをオンにして、日付を選びます。

どちらか一方だけ、または両方を組み合わせて使えます。たとえば： - 開始日フィルターをオンにして2024年1月1日に設定すると、2024年以降のすべてをエクスポートできます。 - 開始日と終了日の両方のフィルターをオンにして日付を指定すると、夏休みなど特定の期間だけをエクスポートできます。

注意：「最近追加のみ（写真ライブラリのアルバムを参照）」がオンの間は期間の指定が無視され、システムの「最近追加した項目」アルバムにある写真だけがエクスポートされます。日付の選択は保持され、このオプションをオフにすると再び適用されます。

カメラモデルフィルター

「カメラモデル」ドロップダウンでは、各写真に記録されているEXIFのカメラ製造元とモデルに基づいて、特定のカメラで撮影した写真だけにエクスポートを限定できます。

- 「すべてのカメラモデル」（デフォルト）では、使用したカメラに関係なくすべてがエクスポートされます。
- 特定のモデル（たとえば*Canon EOS R50*や*iPhone 15 Pro*）を選ぶと、そのカメラで撮影した写真だけがエクスポートされます。
- ドロップダウンの横にある**更新ボタン**（「カメラモデル一覧を更新」）をクリックすると、ライブラリを再スキャンしてカメラモデルを取得します。

注意：カメラモデルフィルターはフォトライブラリのエクスポートでのみ利用でき、接続したデバイスでは使用できません。

ファイルとフォルダの名前を決める

フォルダ名

「フォルダ名」ドロップダウンでは、指定した保存先の中にどのようなサブフォルダを作成するかを設定します。写真は撮影日に基づいて、これらのフォルダへ自動的に振り分けられます。

オプション	フォルダ構成の例
年 / 月	2024/06/
年 / 月 / 日	2024/06/15/
年 - 月	2024-06/
年 - 月 - 日	2024-06-15/
年 / 月名	2024/June/
年 / 月名 / 日	2024/June/15/
年	2024/
年 / 年-月 / 年-月-日	2024/2024-06/2024-06-15/
年 / 年-月-日 アルバム名	2024/2024-06-15 Summer Holiday/
アルバム	アルバムごとに1つのフォルダ（アルバム系のソースでのみ利用可能）
サブフォルダなし	すべてのファイルを1つのフォルダに
カスタマイズ	タグから組み立てる独自のパターン — 下記を参照

ドロップダウンのすぐ下にある「例」の行には、実際に使われるフォルダとファイルのパスがリアルタイムでプレビュー表示されます。

ファイル名

「ファイル名」ドロップダウンでは、保存時に個々のファイルにどのような名前を付けるかを設定します。

オプション	ファイル名の例
元のファイル名	IMG_2870.HEIC
年-月-日_ファイル名	2024-06-15_IMG_2870.HEIC
年-月-日_時分_ファイル名	2024-06-15_1430_IMG_2870.HEIC
年月日_時分秒.拡張子	20240615_143025.HEIC

ヒント：あとからフォルダ名やファイル名のスタイルを変更してエクスポートをやり直すと、命名が変更されたという警告が表示されます。この場合、重複したファイルが作成される可能性があります。一度決めたスタイルは変えずに使い続けることをおすすめします。

カスタムフォルダパターン

用意されたフォルダスタイルがどれも合わない場合は、「**フォルダ名**」ドロップダウンで「**カスタマイズ**」を選びます。タグを組み合わせで独自のフォルダ構成を作るパターンビルダーが開きます。大陸・国・都市などの位置情報タグも使えるので、旅行の写真を訪問先ごとに整理するのに最適です。

パターンを作成するには： 1. フォルダ名スタイルとして「**カスタマイズ**」を選びます。「**カスタムフォルダパターン**」ウインドウが開きます。（ドロップダウンの横にあるスライダーボタンで、いつでも再表示できます。） 2. フォルダを作成したい順に、「**タグ**」エリアから「**パターン**」エリアへ**タグをドラッグ**します。 3. パターン内でドラッグして順序を**入れ替え**たり、「タグ」エリアへドラッグして**取り除**いたりできます。 4. 下部の「**例**」の行に、できあがるパスがリアルタイムでプレビュー表示されます。 5. パターンを使用するには「**適用**」を、変更を破棄するには「**キャンセル**」をクリックします。

利用できるタグ：

グループ	タグ
日付	年、月、月名、月の日、曜日名
場所	大陸、国、都市名、市街地、「都市、国」
カメラ	カメラメーカー、カメラモデル、カメラ
ライブラリ	アルバム
区切り文字	/ （新しいサブフォルダ）、  、  、スペース

例：

パターン	できあがるパス
国 / 年 / 月	Germany/2024/06/IMG_2870.CR3
年 / 国 - 都市名	2024/Germany-Nuremberg/IMG_2870.CR3
カメラモデル / 年	Canon EOS 90D/2024/IMG_2870.CR3
大陸 / 年 / 月名	Europe/2024/June/IMG_2870.CR3
カメラメーカー / カメラモデル	Canon/Canon EOS 90D/IMG_2870.CR3
市街地 / 年 - 月	Altstadt/2024-06/IMG_2870.CR3

実践例：Canon EOS 90Dの旅行アーカイブ

Canon EOS 90Dで撮影していて、旅行が多く、カメラごと、次に撮影場所ごと、さらに年ごとに整理されたアーカイブを作りたい場合を考えてみましょう。

- 1. 「フォルダ名」を「カスタマイズ」にして、次のパターンを組み立てます。カメラモデル / 国 / 都市名 / 年
- 2. 「ファイル名」を「年-月-日_時分_ファイル名」にすると、各ファイルに撮影時刻が付きます。
- 3. Photo Backup という名前のフォルダにエクスポートします。

ディスク上の結果は次のようになります。

```
Photo Backup/  
├── Canon EOS 90D/  
│   ├── Germany/  
│   │   ├── Nuremberg/  
│   │   │   ├── 2024/  
│   │   │   │   ├── 2024-06-15_1430_IMG_2870.CR3  
│   │   │   │   └── 2024-06-15_1432_IMG_2871.CR3  
│   └── Italy/  
│       ├── Rome/  
│       │   ├── 2024/  
│       │   │   └── 2024-08-03_1015_IMG_3311.CR3
```

複数のカメラで撮影している場合は、モデルの前にカメラメーカーを置きます。あるいはメーカーだけを使えば、ブランドごとに独立したツリーにまとめられます。

```
Photo Backup/
├── Canon/
│   ├── Europe/
│   │   ├── Germany/
│   │   │   ├── 2024/
│   │   │   │   ├── 06/
│   │   │   │   │   ├── IMG_2870.CR3
│   └── Apple/
│       ├── Asia/
│       │   ├── Japan/
│       │   │   ├── 2025/
│       │   │   │   ├── 03/
│       │   │   │   │   ├── IMG_9042.HEIC
```

ヒント： カメラタグは、メーカーとモデルを1つのフォルダ名にまとめます。なお、Canonをはじめ多くのカメラはEXIFのモデル欄にすでにブランド名を含んでいるため、**カメラメーカー / カメラモデル**では Canon/Canon EOS 90D/ のようになります。フォルダの階層を1つにして短くしたい場合は、**カメラモデル**だけを使ってください。

注意： 位置情報タグは、写真に記録されている位置情報を使用します。位置情報のない写真は、代わりに汎用のフォルダに保存されます。カメラのタグはカメラが書き込んだEXIFデータを使用するため、モデル名の正確な表記はカメラ側の記録に従います。

その他の設定

これらのオプションは「**その他の設定**」セクションにあり、エクスポートをさらに細かく制御できます。

設定	機能
オリジナルの写真とビデオをエクスポート	オンにすると（推奨）、編集前のオリジナルファイルがエクスポートされます。オフにすると、代わりに編集後のバージョン（「写真」Appで加えた調整を含む）がエクスポートされます。
最近追加のみ（写真ライブラリのアルバムを参照）	ライブラリ全体や選択した期間ではなく、システムの「最近追加した項目」アルバム（少数の最近の写真）だけをスキャンすることで、エクスポートを高速化します。定期的な差分バックアップに最適です。ライブラリ全体をスキャンしたい場合は、このオプションをオフにしてください。特定のアルバムを選んでいる場合（アルバムがエクスポート対象を正確に定義しているため）や、接続したカメラからエクスポートする場合（常に完全なファイル一覧が得られるため）は利用できません。
代替バージョンを含める（RAWまたはLive Photosなど）	カメラが同じ1枚をJPEGとRAWの両方で保存している場合、このオプションをオンにするとRAWファイルもエクスポートされます。接続したデバイスでは利用できません。
スクリーンショットを除外	フォトライブラリでスクリーンショットとしてマークされている写真をスキップし、実際に撮影した写真だけをエクスポートします。接続したデバイスでは利用できません。
お気に入りのみ	「写真」Appでお気に入りとしてマークした写真とビデオだけをエクスポートします。接続したデバイスでは利用できません。
元より小さい場合は既存ファイルを上書き	保存先にすでにファイルが存在し、そのファイルがライブラリ内のファイルより小さい場合、置き換えられます。以前に低画質のバージョンをエクスポートしたことがある場合に便利です。
テスト実行（実際にはエクスポートしない）	エクスポートと同じ処理をひとつおりの実行しますが、実際にはファイルをコピーしません。ファイルに触れることなく、何項目がエクスポートされるかを確認したり、問題がないかを調べたりできます。

エクスポートを実行する

設定が決まったら、「写真とビデオをエクスポート」ボタン（メディアタイプの選択に応じて「写真をエクスポート」／「ビデオをエクスポート」）をクリックします。

フォルダ選択ウィンドウが表示されます。ファイルを保存したい場所へ移動して、「選択」をクリックします。このウィンドウから直接、新しいフォルダを作成することもできます。

エクスポート画面には次の情報が表示されます。 - エクスポートの進み具合を示す**進行状況バー**。 - 現在処理中の写真またはビデオの**サムネール**。 - これまでにエクスポートされた新しい項目の**件数**。 - これまでにエクスポートされた**合計ファイルサイズ**。

いつでも「**キャンセル**」をクリックしてエクスポートを中止できます。すでにコピーされたファイルは保存先フォルダに残ります。

インデックス印刷

インデックス印刷（Index Printout）機能は、現在の設定に一致するすべての写真とビデオを一覧にしたページを、印刷またはPDFとして作成します。エクスポートした内容を紙やデジタルの記録として残しておくのに便利です。

エクスポート前に印刷する： エクスポートを実際に実行する前に、**プリンタアイコン**のボタン（エクスポートボタンの隣）をクリックすると、現在の設定でエクスポートされる予定の内容のインデックスを作成できます。何がコピーされるのかを事前に確認するのに役立ちます。

エクスポート後に印刷する： エクスポートが正常に完了すると、概要ダイアログに「**インデックスプレビューを印刷**」ボタンが表示されます。クリックすると、新しくエクスポートされたすべての項目の一覧を印刷したり、PDFとして保存したりできます。

注意： インデックス印刷はフォトライブラリのエクスポートでのみ利用でき、接続したカメラでは使用できません。

エクスポートのあとで

エクスポートが終わると、いくつかの写真とビデオがエクスポートされたかを示す概要ダイアログが表示されます。

Appの「**ファイル**」メニューからは、次の操作も行えます。 - 「**Finderで最新のエクスポートを表示**」 - エクスポート先フォルダをFinderウィンドウで開き、エクスポートしたファイルをすぐに確認できます。 -

「**Finderで最新のログを表示**」 - 直近のエクスポートのログファイルを開きます。 - 「**最後のインデックスを再印刷**」 - 直近のエクスポートのインデックスをもう一度印刷します。

無料版と無制限エクスポート

Photo Library Export は、**App起動ごとに100枚の写真とビデオまで**無料で使えます。Appを開くたびにカウンタがリセットされ、さらに100項目を無料でエクスポートできます。

もっと多くをエクスポートしたい場合は、手ごろな**年額サブスクリプション**または**買い切り**で「**無制限を解除**」できます。どちらも100項目の制限をなくし、ライブラリ全体を一度にエクスポートできるようにします。サブスクリプションは解約するまで毎年更新され、買い切りには期限がありません。

購入する、または以前の購入を復元するには：1. Appウィンドウ下部の「**無制限を解除**」をクリックします。2. 表示されるシートには、2つの選択肢が価格とともに横に並んで表示されます。「**登録**」または「**購入**」をクリックします。このMacや別のMacですでに無制限エクスポートを購入済みの場合は「**購入を復元**」をクリックします。

サブスクリプションを選んだ場合は、同じシートの「**サブスクリプションを管理**」からいつでも変更または解約できます。クリックするとApp Storeのアカウント設定が開きます。

購入の復元は、Appのメニューバーから行うこともできます。

ヒントとよくある質問

Appが写真を削除してしまうことはありますか？ いいえ。Photo Library Export は写真とビデオをコピーするだけです。フォトライブラリやカメラの中身が削除されたり変更されたりすることは一切ありません。

エクスポートを2回実行しました。ファイルが重複しませんか？ いいえ。Appは保存先フォルダにファイルがすでに存在するかを確認し、存在する場合はスキップします。2回目以降は、本当に新しいファイルだけがコピーされます。

「テスト実行」とは何ですか？ テスト実行では、実際にファイルをコピーせずにエクスポート全体をシミュレートします。何項目がエクスポートされるかを確認し、フォルダ構成をプレビューできる、まったくリスクのない方法です。

エクスポートで「新しい写真またはビデオは見つかりませんでした」と表示されます。なぜですか？ 現在のフィルターに一致する写真が、すべて指定した保存先にエクスポート済みであることを意味します。保存先フォルダを変更するか、期間を調整するか、ライブラリに新しい写真を追加してからお試しください。

カメラを接続しているのに、「デバイス」の一覧に表示されません。 カメラの電源が入っていて、ファイル転送に適したモードになっていることを確認してください（カメラの取扱説明書を参照）。それでも表示されない場合は、USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してみてください。

「オリジナルをエクスポート」と編集後のバージョン、どちらを使うべきですか？ バックアップ目的なら、「**オリジナルの写真とビデオをエクスポート**」をオンのままにすることをおすすめします。カメラから取り込んだままのオリジナルファイルがそのまま保持されます。編集（トリミング、色調整、フィルタ）を反映したバージョンが必要な場合は、このオプションをオフにしてください。

対応しているファイル形式は何ですか？ Appは、フォトライブラリやカメラに保存されている形式をそのままエクスポートします。JPEG、HEIC、RAW形式（CR2、ARW、NEFなど）、MP4、MOVなどに対応しています。

エクスポートのログはどこにありますか？ エクスポートのログは自動的に保存されます。直近のログは、Appの「ファイル」メニューの「**Finderで最新のログを表示**」から開けます。

Appはどの言語に対応していますか？ Photo Library Export は14の言語にローカライズされています：英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ポーランド語、ポルトガル語（ポルトガルおよびブラジル）、ロシア語、ウクライナ語、ヒンディー語、日本語、簡体字中国語。AppはmacOSの言語設定に自動的に従います。

ドイツ・ニュルンベルク製。サポートが必要な場合は、Appウインドウ下部の「お問い合わせ」リンクをご利用ください。
